

## 政策 I

# 未来を創造する 子どもたちを育む学びのまち

### この分野の主な課題

#### 主要施策 1 小中一貫教育の推進

- 社地域及び滝野地域での小中一貫校の開校に向けて、地域との協議の下で計画的に整備を進めるとともに、小中一貫教育の実施に向けた環境づくりを進めていくことが求められます。

#### 主要施策 2 確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成

- 令和の日本型学校教育の構築を目指すため、各教科の授業実践、英語教育、ICT活用、家庭学習の充実に向け、すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実践する必要があります。

#### 主要施策 3 心の教育の推進

- 自然学校やトライやる・ウィークなどの体験学習などに取り組み、児童・生徒の豊かな人間性、道徳性、多様性を育むとともに、規範意識の向上に取り組む必要があります。

#### 主要施策 4 健全な子どもを育てる環境づくり

- 加東こども家庭センターや加東警察署などの関係機関と連携し、家庭を支える取組を一層推進するとともに、地域の教育力を活かした特色ある教育活動を推進できるよう、学校評議員会や学校運営協議会、部活動指導などにおいて地域人材を活用していく必要があります。

#### 主要施策 5 インクルーシブ教育充実のための支援

- 共生社会の形成を目指し、支援が必要な子どもに対して適切にサポートできる体制を構築するとともに、個々の特性を踏まえた関わりについて、学校・園との連携を強化する必要があります。

#### 主要施策 6 幼児教育と保育サービス等の充実

- 私立保育所・認定こども園の施設整備を支援するとともに、保育士などの人材を確保する必要があります。また、子育て家庭の孤立化の解消や保護者の子育ての不安・負担感の軽減が必要であるため、引き続き子育て中の親子の交流や育児相談・情報提供を行います。

施策Ⅰ 学校教育の充実

主要施策Ⅰ 小中一貫教育の推進

＼ 将来あるべき姿 /

小学校と中学校の垣根を越えた系統性や連続性のある小中一貫教育により、ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子どもたちが育っています。

協働の取組

市の取組

① 小中一貫校の整備〔総合戦略〕

加東の未来を担う子どもたちによりよい学習環境を提供するため、市内全域での小中一貫校の整備に向けて施設整備を進めるとともに、小中一貫校開校準備委員会において施設のあり方や安全な通学路、校歌、校章などの検討を進めます。

② 郷土愛の醸成〔総合戦略〕

子どもたちの郷土愛を育むため、地域活動への積極的な参加を促進するとともに、「かとう学」副読本を活用したふるさと学習に取り組み、地域について学ぶ機会を充実させます。また、9年間を見通した教育活動のさらなる充実に向けて、ふるさと学習の機会拡充やカリキュラムの改訂に取り組みます。

市民・地域・事業者等に期待すること

- 地域や学校関係者、保護者などは、子どもたちがよりよい教育を受けられるよう、小中一貫校の整備や運営、地域交流や見守り活動に積極的に関わります。
- 地域は、子どもたちに、地域のよさを伝え、地域について学ぶ「ふるさと学習」に積極的に協力します。また、地域の人々と子どもたちが交流できる機会を積極的につくります。

まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 中学生(7年生)になることへの不安がない児童の割合 児童生徒アンケートにおいて、中学生(7年生)になることに不安がないと回答した児童の割合	—	64.1% (R4)	74.0%
② ふるさと加東への愛着度 児童生徒アンケートにおいて、自分が住んでいるまちを大切にしたいと回答した児童・生徒の割合	—	76.6%	81.0%



## 施策1 学校教育の充実

### 主要施策2 確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成

#### ＼将来あるべき姿／

「確かな学力」「健やかな体」を育み、ふるさとを愛し、ともに支え合いながら未来を切り拓く子どもたちが育っています。

#### 協働の取組

#### 市の取組

##### ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組の推進〔総合戦略〕

指導の個別化・学習の個性化による個別最適な学びや、多様な他者との協働によるよりよい学びを生み出す協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むとともに、教科横断的な学びを進展させ、総合的な学習の時間には、SDGs（持続可能な開発目標）についても理解を深めていきます。また、家庭や地域と連携して補完的な学習や発展的な学習を行える環境を整備し、授業以外での学習習慣の定着や学習環境の整備に取り組めます。

##### ②キャリア教育の充実〔総合戦略〕

個性を伸ばし、より深い興味関心が持てるよう、特別活動を要しつつ各教科の特質に応じて子どものキャリア発達につながる視点を重視し、兵庫教育大学との連携を強化するとともに本物の芸術やプロフェッショナルの高度な技能を授業に取り入れます。また、自分の夢や目標を持ち続けられるよう、キャリアパスポートやキャリアノートを積極的に活用します。

##### ③英語教育の充実〔総合戦略〕

臆することなく英語でコミュニケーションできる能力を育成するため、目的や場面、状況を意識した言語活動重視の授業を行うとともに、ALT・地域の外国人住民とのふれあいや対話の機会、身に付けた英語力を試す場を積極的に設けます。

##### ④望ましい運動習慣・食習慣の定着〔総合戦略〕

運動習慣の定着や体力の向上のため、体力テストの分析結果の活用や系統的な学習指導により教科体育を充実させます。また、望ましい食習慣の定着や豊かな心と人間性の育成に向け、食事と健康のつながりや和食文化を学ぶなど、栄養教諭などによる食育指導を充実させます。

##### ⑤ICTを活用した教育活動の充実〔総合戦略〕

一人1台パソコンを活用して、児童・生徒が自ら学習を振り返ったり、教師が一人ひとりに応じた指導を実践したりするため、スタディ・ログなどの蓄積・利活用に取り組めます。また、情報活用能力の向上を図るため、プログラミング教育や児童・生徒の主体的な学びを促進する学習活動を計画的に実施します。加えて、情報モラル教育を推進することで、情報を正しく判断し、よりよく活用するとともに、責任をもって情報発信しようとする態度や能力を育成します。

#### 市民・地域・事業者等に期待すること

- 保護者は、子どもに基本的な生活習慣を身に付けるよう取り組むとともに、家庭学習に取り組むよう支援します。また、正しく安全なネット利用ルールについて、子どもと話し合う機会をつくります。
- 市民や地域は、小学校の英語教育の指導助手やゲストティーチャーとして、学校教育に協力します。

まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
<b>① 学校の授業がわかる児童・生徒の割合</b> 児童生徒アンケートにおいて、学校の授業がわかると回答した児童・生徒の割合	74.9%	93.1%	98.0%
<b>② 将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合</b> 児童生徒アンケートにおいて、将来の夢や目標を持っていると回答した児童・生徒の割合	57.2%	52.1%	62.0%
<b>③ 英検3級相当以上の英語力を有する生徒の割合</b> 生徒の英語の学習状況（文部科学省『英語教育実施状況調査』）	39.9%	48.3%	60.0%
<b>④ 朝食を毎日食べている児童・生徒の割合</b> 児童生徒アンケートにおいて、毎日朝食を食べていると回答した児童・生徒の割合	87.7%	79.7%	85.0%
<b>⑤ 情報収集・資料作成ができる児童・生徒の割合</b> 児童生徒アンケートにおいて、ICT機器を活用した情報の収集、発表資料の作成ができる児童・生徒の割合	—	28.0%	40.0%





## 施策1 学校教育の充実

## 主要施策3 心の教育の推進

## ＼ 将来あるべき姿 /

子どもたちが多様な価値を認め合い、豊かな情操や道徳心、差別や偏見を許さない態度や行動、人や社会とかかわる力を身に付け、多様な人と豊かに共生しています。

## 協働の取組

## 市の取組

## ①多様性を認め合う児童・生徒の育成〔総合戦略〕

子どもたちが多様な価値観を認め合い、差別や偏見を許さない態度や行動を身に付けられるよう、学級、児童会、生徒会などによるいじめや偏見を許さない取組を推進するとともに、不登校の未然防止や登校促進に向けた家庭への支援に取り組みます。また、発達段階に応じた系統的な学習を通じて、自他の人権を守り、人権課題に取り組む行動力を育成します。

## ②体験活動の充実〔総合戦略〕

子どもたちが人や社会と関わる力を身に付けられるよう、ふるさと学習やトライやる・ウィークなどの実践的な活動を通じた学習を推進します。

## ③家庭や地域と連携した道徳教育の推進

子どもたちの道徳心を培うため、指導方法や評価方法に関する調査・研究やオープンスクールなどで道徳科の授業を公開するとともに、家庭で道徳の授業や道徳的価値について話し合う機会を設けるなど、道徳教育について家庭や地域と共通理解を図ります。また、PTA活動などによる保護者の人権教育の推進に取り組みます。

## 市民・地域・事業者等に期待すること

- 保護者は、オープンスクールなどで公開される道徳科の授業を参観し、家庭で話し合いを行うなど、学校と協力して、道徳教育に取り組みます。
- 地域は、人と人とのふれあいを通してふるさとのよさや伝統を子どもたちに伝えるため、積極的に体験活動に協力します。また、事業者は、トライやる・ウィークの活動に積極的に協力します。
- 保護者や市民は、積極的に研修に参加するなど、人権感覚や道徳性を磨き、子どもたちの模範となります。

## まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 困っている人を助ける児童・生徒の割合 児童生徒アンケートにおいて、人が困っているときは、進んで助けると回答した児童・生徒の割合	40.1%	55.6%	65.0%
② 人とふれあうことを楽しいと感じる生徒の割合 児童生徒アンケートにおいて、トライやる・ウィーク期間中に人とふれあうことを楽しいと感じた生徒の割合	62.9%	51.4%	67.0%
③ 道徳科の授業で自分の考えが深まったと思う児童・生徒の割合 児童生徒アンケートにおいて、道徳科の授業で自らの考えが深まり、グループなどでの活動に取り組む児童・生徒の割合	—	45.0%	55.0%

施策2 学びや育ちを支える環境づくり

主要施策4 健全な子どもを育てる環境づくり

＼将来あるべき姿／

保護者や地域の人たちが、学校行事や学びの場、地域の活動に積極的に参加して、地域全体で子どもたちを見守り、育てています。

協働の取組

市の取組

①地域ぐるみの学校教育支援〔総合戦略〕

地域全体で子どもたちを育むため、学校行事や学びの場、学校ボランティアなど、保護者や地域住民が学校教育を支援する活動に参加する機会を充実させます。

②学校・家庭・地域の連携〔総合戦略〕

家庭や地域と学校が目指す子どもの姿を共有し、共に子どもたちの教育に取り組むため、家庭における基本的な生活習慣や学習習慣の確立を図るとともに、学校からの情報発信の充実や、学校運営協議会の設置、地域学校協働本部との連携により、コミュニティスクールとして持続可能な協働体制を構築します。

③働きがいのある学校づくり〔総合戦略〕

教職員が子どもと向き合う時間を確保するために、地域人材を活用してスクール・サポート・スタッフ、部活動指導員などを配置し、心身ともに健康で、専門性を高め、指導力を高められる協働体制を構築します。また、教職員のワーク・ライフ・バランスを推進するため、ノー残業デー、ノー会議デー、ノー部活動デーの完全実施、出張回数の削減、校務支援システム活用など、積極的な業務改善に取り組みます。

④地域における子どもの安全確保〔総合戦略〕

子どもたちの安全な登下校支援や健全育成に関わる地域の活動など、加東子ども家庭センターや加東警察署などの関係機関と連携して子どもの安全・安心の確保に向けた地域における取組の充実を促進します。

市民・地域・事業者等に期待すること

- 保護者や地域の人たちは、誘い合って、学校行事や学びの場、学校でのボランティア活動に加え、地域こども見守り隊などのボランティア活動や地域の行事や活動に進んで参加します。また、学校と連携し、主体的に子どもたちの育成に努めます。
- 地域は、さまざまな世代の人が参加できる地域活動の実施に努めます。

まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 子どもの教育活動に協力する市民の割合 市民アンケートにおいて、オープンスクールなどの学校行事や学校でのボランティア活動に参加する市民の割合	44.9% (H29)	45.7% (R4)	51.0%
② 学校オープンに参加する保護者の割合 年度当初の学校オープンに参加した保護者の割合	—	—	88.0%
③ 1か月の超過勤務時間が80時間超の教職員数 教職員の超過勤務の状況	—	9人	0人
④ 子ども(青少年)の安全対策や健全育成に協力する市民の割合 市民アンケートにおいて、青少年の補導活動や地域子ども見守り隊などの活動に参加する市民の割合	31.9% (H29)	30.9% (R4)	36.0%



施策2 学びや育ちを支える環境づくり

## 主要施策5 インクルーシブ教育充実のための支援

＼ 将来あるべき姿 /

支援が必要な子どもに対して、幼児期から就労までの生涯を見通した切れ目のない支援を行うことで、自立した生活を送ることができています。

### 協働の取組

#### 市の取組

##### ① 相談・連携体制の強化〔総合戦略〕

支援が必要な子どもが適切な支援を切れ目なく受けることができるよう、サポートファイルの作成を促し、相談・連携体制を強化します。また、多職種が連携し、保護者や学校・園の職員に対して、合理的配慮などの支援方法を伝えます。

##### ② 一人ひとりの特性に合った療育等の提供〔総合戦略〕

支援が必要な子どもに対して一人ひとりの特性に合った個別・集団療育を実施するとともに、支援が必要な子どもの保護者に対してペアレントトレーニングを実施し、親子の良好な関係づくりを支援します。また、発達障害などへの理解を深めるため、市民対象の研修を充実させます。

#### 市民・地域・事業者等に期待すること

- 保護者は、早期療育の重要性を理解するとともに、相談を通じて、子どもの状態を把握します。
- 市民は、積極的に研修に参加し、発達障害などに対する理解を深めます。

### まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 関係機関と連携をとることができた相談の割合 全体の相談件数のうち、関係機関と連携することができた相談件数の割合	—	85.1% (R4)	86.0%
② 個別・集団療育の参加者数 発達サポートセンターで行っている個別・集団療育の参加者数	—	25人	25人

施策2 学びや育ちを支える環境づくり

主要施策6 幼児教育と保育サービス等の充実

＼ 将来あるべき姿 /

幼児教育・保育を充実させるとともに、子どもや子育て家庭のニーズに応じた多様な保育サービスなどを提供することで、地域で安心して子育てができ、人間性豊かな子どもたちがすくすく育っています。

協働の取組

市の取組

① 幼児教育・保育の充実〔総合戦略〕

子育て家庭の多様なニーズに応じた質の高い幼児教育・保育を提供するため、保育士、幼稚園教諭などの資質や専門性の向上に取り組むとともに、幼児期からの人権教育を推進します。また、私立保育所・認定こども園などの施設整備や保育士の就労支援などにより保育の受け皿を確保し、保育所・認定こども園の待機児童・保留児童を解消します。

② 多様な保育サービスの提供と情報提供の充実〔総合戦略〕

放課後児童健全育成事業や子育て援助活動支援事業、病児・病後児保育などの提供に取り組むとともに、家庭の事情で突発的に子育て支援を受けたい方のために、新たな一時預かりサービスを検討します。保護者が安心して子育てを行うことができるよう、子育てサークル活動の活性化を支援するとともに、児童館や兵庫教育大学子育て支援ルーム「かとうGENK i」において親子の交流機会の提供や子育てに関する情報提供、相談を行います。

市民・地域・事業者等に期待すること

- 保護者は、地域や子育て支援拠点の行事などに積極的に参加します。
- 地域は、子どもが安全に生活できるよう見守りなどに取り組むとともに、地域住民と子育て世代との交流のための機会の確保に努めます。
- 事業者は、子育てしやすい職場環境を整えます。



まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 幼児教育・保育サービス等の取組に関する満足度	—	76.9% (R4)	79.0%
② 市民アンケートにおいて、幼児教育・保育サービスなどの取組を満足と感じる市民の割合	—	76.9% (R4)	79.0%
② 地域子育て支援拠点の来館者数 各児童館とかとうGENK iの来館者数	70,999 人	37,589 人	73,900 人